

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム・ルンビニー

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

真島 彩

評価完了日

平成 19 年 7 月 20 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>・スタッフ全員で話し合っ考えた理念を作り上げている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員で話し合い「ひとりひとりの想いをくみとって生活を豊かに」「人として当たり前に関わりと支援」という理念を作り上げておられる。</p>		<p>・地域の中に溶け込めるよう努力していきたい。</p> <p>事業所では、さらに利用者が地域の中でその人らしく暮らせるよう支援することを理念に盛り込んでいきたいと考えておられた。</p>
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>・全員が意識しながら、実践できる理念として日々取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>理念のもと、行動指針を全職員で作成し、毎月目標を決め職員で共有して取り組んでおられる。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>・運営推進会議を通じ地域の人々に、また家族会・便り等を通じて、理念・行動指針を伝えている。</p>		<p>・ただ理解頂いているかは不明である。</p> <p>・今後、地域の集まり等の機会に説明を行っていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・ルンビニーの前が丁度バス停で、バス待ちの人や歩いている人に挨拶や会釈はできている。また、お遍路さんのお接待の受け入れを行っている。		・今後も気軽に立ち寄って頂けるような、近所付き合いを努めていく。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・地域の自治会に存しており、ルンビニー便りを毎月送付している。 ・お遍路さんの接待を行っている。 (外部評価) 町内会の回覧板を職員と利用者で回しておられる。近くの幼稚園児が利用者の誕生日のお祝いに来てくれる。祭りの子供ちょうちんやおみこしが立ち寄ってくれる。		・地域との交流の場を増やしていく。 さらに、事業所では今後、利用者が近隣の方達と交流を図っていただけるような機会を増やしていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・実習生などの受け入れは、積極的に行っている。		・運営推進会議を通じて話し合っているが、まだ具体的な所まで到っていない。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・年1回スタッフによる自己評価を行っている。外部評価による改善点の結果を踏まえ、次回、外部評価までに改善するよう取り組んでいる。 (外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、ユニットごとに話し合いまとめられた。前回の評価結果を受けて、事業所の理念と行動指針を決め、日々取り組まれている。利用者の受け入れの際には、職員の意見を聞く取り組みを始められた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>・報告だけで終わっているようなので、サービス向上に活かしてきていない。</p>		<p>・今後、報告だけでなく、意見交換を行っていききたい。</p>
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議時、事業所の取り組みについての報告をされている。民生委員の方やご家族の方に事業所の畑作りの協力をお願いされた。</p>		<p>さらに、今後、会議時に、災害時の協力についても話し合っていきたいと考えておられた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>・特に実施していない。</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議時、市の担当者より「事業所側から地域に向けて提案等をしてみてはどうか」というアドバイスを受け、今後、災害時の協力についても話し合いを行なっていききたいと考えておられた。今後、市職員の研修を受け入れる予定となっていた。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>・今までは個々の学習に任せていたが成年後見制度を利用する入居者がおられるので、職員に学習の機会を持ちたい。</p>		<p>・できることなら全員が理解して支援していければいい。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>・勉強会・カンファレンスで学習し、虐待防止に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・契約・解約時に分かりやすく説明を行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・重度な方が多く、現状では難しい。ただ表情や言動からその方の想いを汲み取る努力はしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・面会時または、電話にて報告を行っている。また、月1回ルンビニー便りや検査結果を送付している。 (外部評価) 事業所は、ご家族とのつながりを大切に考えておられ、ご本人の身体の状態や行事報告、金銭管理等について連絡や報告を密に取り、連携を図れるよう取り組まれている。事業所の運営上の改正部分についてもご家族にお話をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・苦情処理ノートを設けているが、意見等は少ない。 ・日頃からご家族が話しやすい人間関係作りに努めている。 (外部評価) 家族会は年2回行い、ご家族だけで話し合うような時間も設けておられる。ご家族の来訪時には「ご家族の声の大切さ」を伝え、意見や要望を出していただけるよう働きかけておられる。苦情処理ノートを作成し、活用してご家族の声を運営に反映されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・スタッフの要望や意見を聞くよう心がけてはいるが、言い難い部分も多いので把握しきれていない可能性がある。		・新人スタッフの採用時、適任かどうか研修期間中、現場スタッフの意見の意見等を取り入れている。また、スタッフが意見を出しやすい雰囲気作りに努めていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ・手が離せない時を除いて、いつでも出勤のスタッフがご家族と対応できるようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・スタッフの異動はほとんどなく、チームワークを大切にケアを行っている。ただやむをえな事情のみ異動がある。		
			(外部評価) 新人職員は、研修期間を設け、利用者との関係作りや職員同士統一したケアを提供できるよう取り組まれている。職員の異動等については、ご家族へも伝えられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・積極的に講習会などの外部研修の参加を促している。また、その報告などを含め、勉強会を2ヶ月に1回の割合で行っている。		
			(外部評価) 事業所では、全職員が外部研修を受講できるよう推進しておられる。カンファレンス時に研修内容を報告されている。毎月行動指針を決めて、内部研修も行っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) ・毎年、県グループホーム連絡協議会主催の相互評価に参加し、他のグループホームとの交流を図っている。		
			(外部評価) 県GH連絡協議会主催の研修に参加し、互いに情報交換をされている。相互評価にも取り組まれた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ・スタッフと積極的に関わりを持ち、悩みやストレスを把握するよう努めている。2・3月に1回は会食などで気分転換を図っている。		・更に少人数のスタッフの人間関係に配慮したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ・運営者は度々グループホームを訪れてスタッフと接しており、モチベーションを高めるよう努めている。		・運営者とスタッフとの面談の機会を設け、心の距離をより近づけたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・相談から入居までにご家族作成のフェイスシートを基に、本人の思いなど、できるだけ把握しているが、場合によっては慌ただしい入居となり十分に把握できない場合もある。		・入居までにご本人がホームに訪ねて来られたり、管理者・現場スタッフが事前にご自宅に訪問する機会を複数回持てるようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・ご家族との話し合いを通じて、信頼関係を作っていく努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ・最初の面会時にご家族の要望などを聞き、本人の状況・状態を観察しながら、対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ・入居までにホームをご家族と一緒に訪ねてくる機会をできるだけ多く持つことが望ましいが、現実には1・2回である。 (外部評価) 管理者が利用予定者を訪問してお話をされたり、ご本人、ご家族が事業所を訪れ、他の利用者の方と一緒に過ごす等されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ・お互いが支え合いながら、色々な場面を作り、笑顔を引き出せるようケアに努めている。 (外部評価) 職員は、「利用者が落ち着け、笑顔が引き出せるように」取り組んでおられる。職員は利用者家事の事を教わったり、時に、庭の観音様のお参りに誘われる事もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・入居者の日々の出来事などをご家族に伝え、ケアの方針を共有して頂いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・本人はもとより、ご家族との信頼関係を築くことに重点を置いて、行事などに参加を促している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ・隣にあるデイサービスにいる友達に会いに行ったり、郷里の墓参りにご家族と出かける機会を作っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ・ぶつかり合う混乱・衝突は極力避けるよう努めている。 ・入居者同士挨拶ができる場面作りを行っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・サービス利用終了後も、ご本人やご家族の安否を気遣い、関係を大切にしている。		・入院などで退去された利用者さんのお見舞いや、ご家族へお便りなどを出すようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・日々の言動から意向を推測し、色々なケアを行い、その中から最適なケアを見つけ出している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>・情報シートやご家族からの話の中から、把握するよう努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・一日通じて関わるスタッフ全員で現状を把握するよう努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ご家族の意見・医師の意見などを取り入れながら、担当者を中心にケアプランを作成している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>センター方式の書式と事業所独自の記録類をもとに、ご本人、ご家族、担当者、主治医と話し合い、介護計画を作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			・3ヶ月に1回カンファレンスで立てたケアプランの評価・見直しを行っている。現状が変わった場合は、そのつど検討している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの計画を見直しされている。又、毎月のカンファレンスには、1週間前に「見直しシート」を職員で回覧し、意見を話し合われている。ご家族にも「情報シート」を提出いただいている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			・ケアプラン・ケアポイントを主とした個別記録の記入方法を実践している。内容は本人の言葉が主となっている。特に気になる点は赤線を引き、ケアプランの作成に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			・デイサービスの受け入れを行っている。		
			(外部評価)		
			ご家族の希望により系列のデイサービスを利用されている方もおられる。又、福祉用具の利用等も支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・本人の意向は反映されていないが、ボランティアさんが週2回来て頂いていて色々な面で協力して頂いている。 ・年2回消防署の方に避難訓練などの指導を受けている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ・現在の状況からして、必要性はないと思う。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ・運営推進会議で地域包括センターのスタッフに参加してもらっているが、協働しているまでには到っていない。		・今後、取り組んでいければいいと思っている。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・医師とご家族との話し合いにより、いつでも訪問診療を受けたり、ご家族の希望で受診できるよう支援している。 (外部評価) 利用者個々の状態の変化に応じていつでも相談でき、往診が受けられる体制になっている。歯科医の訪問診療も受けられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ・主治医が定期的に診断治療を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・看護師がいるため、相談し、必要な場合は医師に連絡し指示を仰いでいる。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・医師が医療機関と連絡を取り合って、情報交換し、ご家族に内容を伝えながら早期退院に向けて努力している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ・医師・ご家族・管理者等で話し合い、それを記録に残し、全員で共有している。		・ターミナルについては、スタッフと医療職の間には考え方の違いがあると思われる。入居時に、もっとはっきりとした方向性を決めてほしい。
			(外部評価) 看取りについて経験があり、入居時に家族、院長、職員と話し合い、事業所で出来ること、出来ないことについても話し合っておられる。		今後、看取りや重度化した場合についての話し合いを繰り返し、介護計画に採り入れ、ご家族とも相談しながら取り組んでいきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ・常に医師の指示のもと看護師中心に支援を行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・介護サマリーなどで、情報交換を行っている。		・十分な情報提供が行えていない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価) ・カンファレンスなどを通じて、言葉かけや対応について話し合いを行っている。		
			(外部評価) トイレの入り口に「つかっています」「あいています」の札があり、利用者が安心して使用出来るようになっていた。トイレから浴室・脱衣所に移動できる造りになっている。職員は、利用者の居室にはノックして声をかけてから入室されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ・できる入居者に対しては、声掛けを行ったり場面作りを行っている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ・なかなか一人一人のペースに合わせた支援は余裕がないのかできていない。		・ご自分の意志を伝えることが難しい入居者が多いため、支援できていないのが現状であるが、今後は、その人の表情やしぐさなどから、何を求めているのか何がしたいのかなど、想いを汲み取り、支援していければと思う。
			(外部評価) 調査訪問時、食後の過ごし方等をご本人に確認をされて支援しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ・一人の入居者だけ毎日お化粧をして、喜ばれている。 ・理容は月に1回カットに来てもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・現状ではできる人がいない。 (外部評価) 現在は、2階ユニットで食事作りをされており、介護度重度の利用者に音や匂いを感じてもらえるようにされている。1階では汁物と盛りつけを利用者と一緒に作っておられる。職員同士が連携を取りながら、利用者の食事介助をされている様子がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ・おやつは自分で選べる方は選んでいただいている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 本人の状態や訴えにより、トイレ誘導を行っている。 ・夜間のオムツ・パッドのあて方は常に検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			・スタッフの都合により、昼間入浴ではあるが、定着している。		・できるならそうしたいが、現状では難しい。
			(外部評価)		
			利用者の希望に沿って入浴を支援しておられる。ご本人の負担を少なくして、くつろいだ入浴となるよう職員2名で介助されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			・できるだけ一人一人の生活習慣や状態に合わせて、休んでいただいている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			・カンファレンスなどを通じて、役割・楽しみごとを見つけ、そういった場面作りや、外出などで気分転換を図っている。		
			(外部評価)		
			職員は、「今日も楽しい1日となりますように」を心がけ、その人に合った支援に努めておられる。時に、寿司職人を事業所に招き、握りたての握り寿司を皆で楽しまれている。お遍路さんのお接待をされており、事業所内の仏様に般若心経をあげられる時には利用者も共にされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			・現状ではできていない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> ・時間の許す限り、外出を心がけ支援している。 		
			(外部評価)		
			買い物等、利用者個々の希望に応じて支援されており、喫茶店にも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、お花見には全員で出かける。 ・機会を作り、イチゴ狩り・ドライブ等、計画している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ご自分の行きたいところを訴えられる方もいる為、これからは個別的な外出も増やせていけたらと思う。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> ・できる入居者さんには、手紙を書いたり電話をかけたりできるよう、支援している。 		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも来てもらえるような、開放的な雰囲気になっていると思う。 		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ・身体拘束については、学習し理解できていると思う。		・何が身体拘束になるのか、スタッフ全員が理解できるようにする。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ・鍵を掛ける必要性がない。 (外部評価) 玄関にチャイムやセンサーが設置されていた。調査訪問時、夕方にブラインドをおろし、雰囲気を作りをされ「帰りたい」という気持ちを和らげられるよう工夫されていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ・スタッフ間の声掛けにより、入居者の安全を第一に心掛けている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ・あれば何気なく、自然な形で危険な物を取り除いているが、現在は必要ない。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ・スタッフ全員が、事故防止の取り組みは行っている。 ・ヒヤリハットを記録することで再認識している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ・救急法の講習は受けている。		・マニュアルはあるが、実施できるかどうかは不安である。さらに徹底していく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ・緊急連絡網を作り体制はできているが、実際はどうか分からない。		・入居者一人では避難できず、誰かの協力を得なければならないので、日頃から働きかけをもっと行い、協力体制を整えるべきである。
			(外部評価) 緊急連絡網を整備されている。事業所前にある会社に火災時等の協力の依頼をされている。		さらに、今後、事業所前にある会社の方にも近いうちに事業所内の見学をしていただけることとなっていた。運営推進会議の機会に、災害時に協力をいただけるよう話し合っていくことを考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ・ご家族に説明し、できる限り対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) ・特変や異変があれば、医師に報告し、指示を仰ぎ、それを記録し、スタッフ全員で確認し対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・全員ができていないとはいえない。		・今後、スタッフ全員が把握できるよう努めなければならない。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・排便状況は毎日チェックしている。 ・朝食時、牛乳・バナナを摂取している。		・高齢になると、食事・運動だけでは便秘が改善されるだけではないと思われるので、服薬も必要だと思う。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ・毎食後、日課として、実施できている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・必要な人はチェック表を使用し、確実に1日1000cc以上摂取できるようにしている。 ・栄養不足の人には、エンシュアで補っている。 (外部評価) 献立は職員が立て、栄養士資格を有する職員が栄養バランス、カロリー等について点検をされている。特に、利用者の水分摂取に気を付けておられ、食事時やおやつ時、随時個々の好み等も聞きながら、水分を摂取できるようすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) ・インフルエンザ予防注射は、ご家族の承諾を得て、毎年実施している。 ・ノロウイルス対策も、熱湯消毒などで徹底できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ 1日1回夜間に調理用具等の消毒は行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ 日中も門扉を開けており、お遍路さんが立ち寄ったり、ご家族も自由な時間に入出入りできている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ 食堂のテーブルなどに、毎週1回季節の花を活け、入居者に目を見て楽しんで頂いている。また、寛いでいる時、童謡などのCDやテープを流し口ずさんだりしながら、居心地の良さを引き出している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下には、ご家族が作った季節の絵手紙や色紙が飾られ、動物の写真も飾られている。時にボランティアの方がピアノを演奏してくださり、童謡や昔懐かしい歌などが音量も配慮され流れていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ ソファで、ぬいぐるみや人形を抱いて話し掛けたり、隣に腰掛けている入居者同士で会話したり足浴しながら、寛いでいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	・入居者の使い慣れた物を居室に置いているが、果たして本人にとって居心地が良いのか判断できない。	
			利用者の使い慣れたオルガン、加湿器、ポータブルトイレ(夜間用)なども用意されていた。利用者の写真や、自分で塗ったぬり絵なども飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			(外部評価)	・スタッフが、いち早くにおい等に気付き窓を開けたりして、換気を行っている。 ・温度調節も、入居者の顔色や状態を見て、冷暖房などの調節を行っている。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			(外部評価)	・台所の流しは、入居者さんの高さに合わせている。 ・空間全体が、バリアフリーとなっており、転倒の危険性を回避している。	
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			(外部評価)	・現状ではほぼ全員、何事にも介助を要するので、混乱状態を何とか回避するのが精一杯である。 ・自立に向けて努力はしているが、現状では無理なようである。	
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			(外部評価)	・入居者の気分転換を計ったり、ちょっとした散歩ができるよう庭の花を見たり、観音様に手を合わせたりしている。	

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の生活史やできる事・わかる事などを確認しながら、カンファレンスの時にスタッフ間で話し合っている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	身体的に重度の方が多いため、1人1人の介護・対応に時間を要し、なかなか一緒にゆったりと過ごすということは難しいが、なるべく寄り添う時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご自分の意志で生活できている人は少ないが、なるべくその人にとって心地が良いペースで暮らして頂くよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	そうした表情や笑顔が引き出せるようにスタッフがケアを行っている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分から行きたい場所を伝えられる方がいない。又、スタッフの人数が限られているため、なかなか出掛けられていない。しかし今後は、その人にとってのなじみの場所や行きたいと思われる場所を、ご家族からお聞きして、出掛けられるように支援していきたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何か変化があれば、Drに連絡して指示をもらい、すぐに対応できるようになっている。自ら身体的な不快感などを訴えられる方は少ないため、少しの変化にも気付くよう観察している。またその人の状態に応じ、1日に数回バイタルチェックをしたり、職員の看護師に診てもらったりしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的に重度の方が多いため、自ら行動されることが少ない分、職員がその方の想いや要望などを汲み取り、安心して穏やかに暮らせるように支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	まず、全てのご家族との信頼関係を作ることを重要視している。その為にも、何でも話せて何でも聴いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者さんのご家族が一番多く訪ねて来ている。また、亡くなられた利用者さんのご家族が週に1回ボランティアさんとして来ている。近所に住んでいるご家族さんが、ホームの畑のお世話をしに来てくれている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ③ ③ ③ ③ 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ 4 全くいない	2ヶ月に1回運営推進会議は行われているが、報告が主体で、地域との交流を深める までには至っていない。今後の課題である。
98	職員は、生き生きと働けている (自己 評価) ③ ③ ③ ③ 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ 4 ほとんどいない	精神的にも肉体的にもかなり疲れている。但し、利用者の笑顔や、優しい言葉に心癒 されて働き続けることができる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者全員の意思表示は難しいが、表情などから判断すると、そうではないだろう か。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族会などの報告では現状に不満はないとの事。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ 医療と仏教の関わりを大切にしている。(観音様参り) ・ 常に創意工夫し、現状における最善の方法のケアを見つけ、実践している。